

ミロボー橋

ミロボー橋の下 セーヌが流れ
二人の恋が
なぜこころも思い出されるのか
喜びはいつも苦功のあぐに
来たものだ
夜よ来い時鐘よ打て
日々は去り行き私に残る

〈大学・一般草書〉